

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○				○		○		○

企業の概要

社名	株式会社三協パーツ商会	都道府県	兵庫県
業種	卸売り、小売り業	従業員数	12
事業概要	自動車部品卸売、小売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途運用ルール制定
テレワーク担当部署	企画部、営業部
テレワーク対象者	自宅で業務遂行が可能な環境にある社員
実施者数	4名
実施日数	週1-4日程度

テレワークの導入・拡大の経緯

神戸市の「多様な働き方推進事業」の一環で、テレワークの導入を進めることとなりました。結婚、育児、介護等のライフイベントに柔軟に対応できるように、自宅での仕事を可能にし、場所に囚われなくても与えられた仕事をこなすことで、企業も助かり、本人のやる気にもつながることを目的とする。今後は在宅雇用なども積極的にいき、幅広い人材を雇用できるようにすることにより、多様で優秀な人材が長く働き、キャリア形成を促進する環境を整える。

テレワークの概要・特徴

妊娠中、子育て中、介護中の社員を中心に実施を行った。
体調不良や通院などにより、通勤が困難であったり、早退、遅刻の可能性がある、仕事の納期が遅れることがあったが、自宅での勤務を可能にするにより仕事をこなすことができるようになった。

- ・SNSで連絡(チャット、音声通話)を密に取り合うことにより、業務中に発生したトラブルや疑問点をタイムリーに解決することができる。
また在席状況も常に更新することによりリアルタイムに就業状況の確認ができる。
- ・クラウドシステムのタイムカードを導入し、業務時間の把握を行う。
- ・ICTツールを導入することにより、自宅からも社内ネットワークにて作業が可能となり、自宅でも会社に出勤しているときと同じ状況で業務が可能となった。また、情報セキュリティの管理については、ICTツールでPC操作ログを収集することによりお互いの情報漏洩のリスクを解消しました。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 生産性向上・移動時間の短縮
 - ・集中して業務を行うことにより生産性が向上
 - ・通勤時間の短縮
- WLB向上
 - ・通勤時間の削減に伴い、社員が家庭や子育て、自己啓発の時間を確保することができるようになり、社員のライフを充実することができました。
- 通勤弱者対応
 - ・妊娠中の体調が不安定な時期に在宅勤務を行うことにより、無理して出社することなく自宅で業務を行うことができるようになりました。
- 優秀な人材確保
 - ・場所に囚われない働き方を提供することで、本来であれば仕事を継続することが難しかった社員が、継続して働くことができキャリア形成を促進することができました。
- その他
 - ・日本経済新聞に当社の取り組みが紹介され社員のモチベーションアップに繋がりました。